



あひるぐみだより



平成27年度 3月号
尚徳福祉会 生麦保育園

太陽の日差しがだんだんと暖かく感じられるようになってきました。すぐそこまで春が訪れています。あひる組で過ごすのも残りわずかとなりました。子ども達の元気に園庭を走り回る姿、着替えを少しずつ一人でしようとする姿、お話がとっても上手になってきた姿を見ると成長を感じます。



☆わあー鬼がきたー☆

2月3日は節分の日。あひる組にも鬼がやってきました。朝のお集まりで、鬼退治の掛け声（おにはそとーふくはうちー）を練習して『鬼をやっつけようね』と張り切って、豆に見立てたボールを握りしめていました。いざ、鬼が現れると『うわあー』と驚いて保育士の後ろに隠れてしまったり…その場に立ちつくしてしまったりと反応が様々でしたが、勇気を振り絞って『おにはそとー』『エイッ・エイッ』とボールを投げている子もいました。鬼が去ってしまうと、ちゃんと鬼がいなくなったのか確認をしていた子ども達。又、皆で鬼のお面をかぶって記念写真を撮ると、お面が気に入ったのか、鏡の前に立って、自分の姿を見て嬉しそうにしていました。



☆だるまさんが転んだ☆

おばけごっこに引き続き、【だるまさんが転んだ】がブームです。最初の頃は、『転んだ』と保育士が言うと、ニヤニヤして進んでいましたが、少しずつルールを伝え、皆でできるようになりました。今では『転んだ』と保育士が振り向くと『ピタッ！！』と止まる事ができるようになりました。また、鬼役にも挑戦して大きな声で『だるまさんがころんだ！！』の掛け声も上手になりました。皆でできる楽しいゲームがまた一つ増えました。

☆おまつりごっこ☆

2月16日、きりん組が主催のおまつりごっこに参加しました。手作りバックを肩から下げて、おまつり会場に向くと、ヨーヨーとお面が大人気。お面はすぐに頭につけ、ヨーヨーは大事そうに両手で持っていました。おまつりごっこが終わって保育室に戻ると、テーブルに買った物を並べて喜んで見えました。遊びを通して異年齢の関わりが沢山もて、楽しい一日となりました。



☆1年間を振り返って☆

子ども達はこの一年間で大きく成長した姿が沢山見られました。特に言葉は、少しずつ自分の気持ちを伝えられるようになりました。遊びの面でも『かして』『いいよ』『ありがとう』と言えるようになり簡単なやりとりを楽しんでいます。また、食事では子ども同士仲良く会話しながら食事をしたり、苦手な野菜も保育士が声を掛けることで食べられるようになりました。

保護者の皆様には、一年間ご理解ご協力頂きありがとうございました。

